

事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	観光施設管理事業				事業通番	4347	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策No.	4-3	施策名	観光の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	観光費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町インフォメーションセンター条例 会津美里町雀林観光休憩所設置条例						
事務事業の概要	観光客が快適に利用できるように観光施設（トイレ、休憩所、インフォメーションセンター）の維持管理を適切に行う。 入湯税充当（一般財源等）						
対象（誰、何を）	観光施設の利用者						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	適切な施設の維持管理とサービスの向上により、利用者の増加を図る。						
成果の考え方	高田及び本郷インフォメーションセンターの利用者を把握することで、適切な管理やサービス向上の成果と捉え、Aの指標を設定する。						
【成果指標】							単位
A 高田、本郷インフォメーションセンター利用者数（前年度（4～3月）入込数実績+5%を目標）							人
B -							-

2. 事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度
事業費(千円)	18,807	17,253	19,778		
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他		741	609		
一般財源	18,807	16,512	19,169		

（2）指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	23,784	26,288	33,421		
	24,979	31,010	26,002		
B	-	-	-		
	-	-	-		

（3）活動実績及び成果

活動実績	観光施設（トイレ、休憩所、インフォメーションセンター）の維持管理を実施した。						
成果	施設が適切に維持管理された。						

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 対応可能な範囲での観光客の増加を目指しているため。
コストの方向性	現状維持	(理由) 維持可能な受け入れ施設で、誘客に対応していくため。
今後の方向性	現状維持	(理由) 観光の拠点施設として、来客者の利便性、快適性を追求した維持管理を継続していく必要があるため

事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	観光誘客事業				事業通番	4351	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	--
	施策No.	4-3	施策名	観光の振興		担当課名	産業振興課
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	観光費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画						
事務事業の概要	会津美里町観光振興計画の各種施策の実現に向け、県や近隣市町村と連携して、町の特産品や観光をPRし誘客促進を図る。						
対象（誰、何を）	観光客						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	関係機関と連携しながら、町の観光資源などの情報を積極的に発信することや観光客受入環境の整備により誘客を図ること で、観光客がその情報を入手し来訪する。						
成果の考え方	A：会津美里町観光振興計画による。令和7年度目標値：17,000万円 町内の主要な観光施設や宿泊施設への聞き取りにより把握する。 B：会津美里町観光振興計画による。令和7年度目標値：16,600人 数値は、町内宿泊施設への聞き取りにより把握する。						
【成果指標】							単位
A 観光消費額							万円
B 町内施設宿泊者数							人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度
事業費(千円)	8,809	12,929	18,753		
国庫支出金		3,985			
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	8,809	8,944	18,753		

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	16,720	16,850	16,900		
	4,680	9,256	7,682		
B	16,400	16,450	16,500		
	9,879	12,285	11,379		

(3) 活動実績及び成果

活動実績	・極上の会津プロジェクトなど、広域連携の協議会に参加した。 ・Instagram「＃会津美里の日々」の投稿数が増えるよう広報への記事の掲載を行った。 ・会津美里町観光大使を6名委嘱した。 ・福島再生加速化交付金制度を活用し、人気ゲームと連携した向羽黒山城跡専用サイトを構築した。
成果	・広域で連携することで、効果的なPR活動が実施できた。 ・Instagram「＃会津美里の日々」の投稿数を10,000件まで増加させることができた。 ・会津美里町観光大使を6名委嘱し、新聞にも掲載されるなど広く会津美里町を周知するきっかけを作ることが出来た。 ・人気ゲームと連携したことで、ゲームファンに向けて効果的に向羽黒山城跡のPRができた。

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 地域経済へ波及効果を促進するために、観光誘客は拡充していく必要があるため。
コストの方向性	現状維持	(理由) 可能な限りコストを維持しながら、観光誘客を図っていく必要があるため。
今後の方向性	生産性改善	(理由) 地域経済へ波及効果を促進するために、従来の手法を見直し、本町の魅力を広くアピールし、誘客に繋げていく必要があるため。

事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	観光対策事業				事業通番	4358	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	--
	施策No.	4-3	施策名	観光の振興		担当課名	産業振興課
予算科目	会計	一般会計		款	商工費		担当係名
	項	商工費		目	観光費		重点プロジェクト

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画						
事務事業の概要	会津美里町観光振興計画の各種施策の実現に向け、観光協会が実施する各種イベントや観光ガイド活動等に補助を行うと共に、観光施設等の維持管理や観光資源の整備を行う。						
対象（誰、何を）	町民及び観光客						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	的確な情報発信を行うことで、町のイベントや観光情報を知り、入込客数が増加する。						
成果の考え方	①イベント（ふれあい茶会、あやめ祭り、せと市、ワイン祭り、大俵引き、ヒルクライム、御田植祭、秋季祭礼）の入込客数を把握することで、観光協会の情報発信等の成果と捉え、Aの指標を設定する。 ②観光ガイドの実施回数を把握することで、着地型観光の成果と捉え、Bの指標を設定する。						
【成果指標】							単位
A	イベントの入込数						人
B	観光ガイド実施回数						回

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移						(2) 指標の推移						上段：目標値 下段：実績値	
区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度	成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
事業費(千円)	320,347	35,273	57,868			A	155,000	156,937	158,874				
国庫支出金							1,000	105,384	136,800				
県支出金													
地方債						B	89	85	90				
その他		976					15	40	33				
一般財源	320,347	34,297	57,868										

(3) 活動実績及び成果

活動実績	・観光協会に補助金を交付し、観光案内（観光ガイド）や情報発信のほか、「向羽黒山城まつり」「あやめ祭り」「会津美里ワインフェス」「大俵引き」などのイベントを実施した。 ・「会津本郷せと市」などにイベント補助金を交付した。 ・旧町営温泉施設である本郷温泉と新鶴温泉に対し、町民の入浴料を割り引くための補助金を交付した。 ・旧高田温泉あやめの湯利用者を本郷温泉と新鶴温泉に迎えるためのタクシーを毎月週2回運行した。						
成果	・コロナ5類移行後初のイベント開催となり、向羽黒山城まつりは旧ふれあい茶会から向羽黒山城の歴史に焦点を当てたコンセプトによりイベント内容の見直しを行った。また、会津美里ワインフェスは運営自立化を目指し自主財源の確保に向け若松間シャトルバスを試験的に有料化した。従来の町主導で公共性の高い内向きのイベントから、観光資源を活かし外から観光客を呼び込むことで外貨を稼ぐイベントへの仕組みづくりに少しずつシフトを図ることができている。 ・温泉の町民割引については、1月末時点でカード登録者が両施設合計3,000名を超え、町民の健康増進に資している。						

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 将来に渡って、地域経済に波及効果を図っていく上で、イベントや入れ込み客数の増加は必須であるため。
コストの方向性	現状維持	(理由) 観光誘客を促進していく上で、コストを維持しながら観光協会やイベントの充実していく必要があるため。
今後の方向性	生産性改善	(理由) 地域経済に波及効果を図っていく上で、従来の手法を積極的に見直し、可能な限りコストを抑えながら、イベントや受け入れ態勢の充実を図るため。

事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	観光まちづくり推進事業					事業通番	14393	
						開始年度	平成27年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	令和7年度	
	施策No.	4-3	施策名	観光の振興		担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	担当係名	商工観光係	
	項	商工費		目	観光費	重点プロジェクト		

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画 会津美里町観光振興計画アクションプラン						
事務事業の概要	令和2年度に平成27年度に策定した会津美里町観光振興計画及び平成28年度に作成したアクションプランの改定を行った。その後期観光振興計画及び後期アクションプランの各種施策の実現に向け、各種施策の実現に向け、既存組織や住民の協働による観光を通じた地域づくりを行うとともに、町の観光の推進体制を構築するため、事業を展開していく。						
対象（誰、何を）	観光客						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	入込数の増加及び、町内での飲食や宿泊、買い物等により消費額拡大を図る。						
成果の考え方	会津美里町後期観光振興計画では、「一人当たりの観光消費額」と「観光施設における観光入込客数」を全体目標に掲げているため、以下の2つを成果として設定する。 A：主な観光関連施設から入込数や売上額等のデータを集計し、観光消費額を把握する。 B：観光施設における入込客数（寺社参拝者、温泉施設等、観光消費額が発生しない施設を除く）を集計し、消費額の動向を把握する。						
【成果指標】							単位
A	一人当たりの観光消費額						円
B	観光施設における入込客数						万人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移						(2) 指標の推移						上段：目標値 下段：実績値	
区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度	成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
事業費(千円)	3,117	3,180	1,657			A	2,811	2,881	2,951				
国庫支出金							3,975	2,935	3,084				
県支出金							5.3	5.3	5.4				
地方債							1.1	3.2	2.6				
その他						B							
一般財源	3,117	3,180	1,657										

(3) 活動実績及び成果

活動実績	・観光まちづくり推進協議会を2回開催した。後期観光振興計画の進捗と成果を確認しながら、今後の進むべき方向性を協議した。 ・観光まちづくり推進事業補助金を1団体に交付した。						
成果	後期観光振興計画の進捗を協議し、今後の方向性を決定した。 また、観光まちづくりを推進する団体を支援し、宮川千本桜ライトアップの実施を支援した。						

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 観光振興は一朝一夕では達成できないため、目標をあまり大きく設定せず、順を追っての育成を継続する必要があるため。
コストの方向性	現状維持	(理由) 大きなコストを投入する体制もできていないため、現状維持よりやや増が最適であるため。
今後の方向性	現状維持	(理由) 目標を大きく設定せず、達成可能な目標をから取り組みを継続していく。そのためには、運営するプレーヤーとなる人材育成を重点的に進めていく。